

# 立山登山案内図と立山カルデラ

第5回企画展



立山カルデラ砂防博物館  
Tateyama Caldera Sabo Museum

## 目次

劔岳から薬師岳	2
立山新道	4
ごあいさつ	5
総論	7
図版(山絵図)	13
コラム① 立山カルデラの注記より「刈込池」	36
図版(名所図絵)	37
コラム② 立山カルデラの注記より「新湯」	54
図版(立山登山案内図)	55
レポート①「山絵図」の製作年代について	92
〃    ② 木版立山登山案内図(芦峯寺系)の施主について	94
〃    ③ 歌川国為画「越中立山図」について	96
文字注記一覧	98
立山登山案内図一覧	102
企画展資料提供者・協力者一覧	104

## 凡例

- 一、本書は、立山カルデラ砂防博物館によって、平成12年(2000)8月1日~9月27日までを会期として開催される企画展「立山登山案内図と立山カルデラ」の解説図録である。
- 一、本企画展は、本館主任嶋本隆一が企画立案した。企画展示に関する諸準備は、嶋本を中心に、飯田肇主任が担当した。
- 一、この解説図録は、嶋本隆一、福江充氏(富山県[立山博物館])、坂森幹浩氏(富山市売薬資料館)の3名の分担執筆によるものである。  
図版解説の執筆分担は下記のとおりである。  
福江 充 [1]~[29]、[50]~[56]、[62]・[63]  
坂森幹浩 [30]~[49]、[57]~[61]、[80]~[84]、[89]~[92]  
嶋本隆一 [64]~[79]、[85]~[88]、[93]~[95]
- 一、図録掲載の資料番号は、本書巻末の立山登山案内図資料一覧と一致する。また、掲載資料すべてが展示資料とはなっておらず、展示の有無は、同じく資料一覧で確かめられる。  
◎は、国重要有形民俗文化財に指定されている作品であることを示す。
- 一、法量は、図版の外寸の縦×横(mm)を示した。
- 一、所蔵先は、

富山県立図書館→〈県図〉	富山市郷土博物館→〈郷博〉
富山県[立山博物館]→〈立博〉	水橋郷土史料館→〈水橋〉
富山市売薬資料館→〈売資〉	立山カルデラ砂防博物館→〈立カ〉

と略記する。
- 一、扉写真は、高橋敬市氏提供によるものである。
- 一、この企画展は、本館・富山県[立山博物館]・富山市売薬資料館三館の連携によるものである。



圖附所名起緣御略並定祖山立國



享保七年  
立山吉日  
執主中屋半七

1 越中国立山禪定並略御緣起名所附圖 (真圖)







# 越中國立山之圖

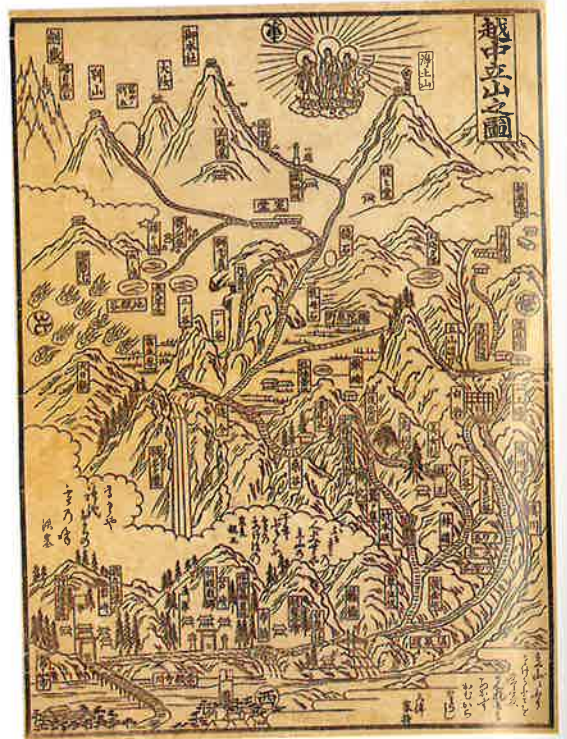


富山の岩所と三ツ芦所と三ツ  
 あつた一と一りびちう形と三  
 くの谷と三ツ進と三ツあま  
 三ツ南本社一ハ丁





①墨版（骨摺り）〔図版88〕がこれに当る。



図版 88（骨摺り）



②黄色 登山道や注記などの部分。



③草色 立山山中の主要部分。



